

2022.12.11. イエスは私たちに必要なもの、欲するものすべてを与えておられる

第二ペテロ 1章 2～11節

JD ファラグ牧師

"天なる御父よ、この曲で賛美を終えるのは、なんと素晴らしいことでしょう。""私たちの礼拝は、主よこの季節、あなたがなさった偉大なことを思い起こすことです。" イエス様、素晴らしい存在です、主よ、あなたは素晴らしい存在です。""主よ、祈ります。私たちがどこへ行くにも、混雑した駐車場、店、最後の買い物でもあなたが共におられます。""主よ、私たちが人々と交流するとき、ただ私たちと共にいて、導いてください。あなたに全てのご栄光がありますように。""今朝も、あなたに賛美と礼拝を捧げ、感謝と賛美、すべてのご栄光は限りなく永遠にあなたのものです。アーメン。"アーメン、アーメン。

おはようございます。ようこそ。お座りください。参加くださり、本当に嬉しいです。オンラインで参加されている方々も歓迎します。大変嬉しいです。始める前に、さっとお知らせです。24日(土)クリスマスイブ礼拝をします。24日は、クリスマスイブだからです。午後5時からですので、メモしておいてください。それで日曜日、12月25日クリスマスの朝は、日曜礼拝はありません。ご注意ください。クリスマスイブに多くの方が参加下さるのを願います。新年は、ニューイヤー礼拝をします。マック牧師が教えます。そうなんです。お、その反応良いですね。マックに言わないでね。だって...(笑)"

では「第二ペテロの手紙」です。先週、1章1節から始め...全～部、1節で終わりました。ですから、2節から始めて、御心なら、11節まで進みます。では、可能な方はご起立下さい。無理な方は、座ったままで結構です。私が読みますので、ついてきてください。使徒ペテロは聖霊によって、こう書いています。

2節、

—II ペテロ 1:2—

神と、私たちの主イエスを知ることによって、恵みと平安が、あなたがたにますます豊かに与えられますように。

—II ペテロ 1:3—

私たちをご自身の栄光と栄誉によって召してくださった神を、私たちが知ったことにより、主イエスの、神としての御力は、いのちと敬虔をもたらすすべてのものを、私たちに与えました。

—II ペテロ 1:4—

その栄光と栄誉を通して、尊く大いなる約束が私たちに与えられています。それは、その約束によってあなたがたが、欲望がもたらすこの世の腐敗を免れ、神のご性質にあずかる者となるためです。

—II ペテロ 1:5—

だからこそ、あなたがたはあらゆる熱意を傾けて、信仰には徳を、徳には知識を、

—II ペテロ 1:6—

知識には自制を、自制には忍耐を、忍耐には敬虔を、

—II ペテロ 1:7—

敬虔には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えなさい。

—II ペテロ 1:8—

これらがあなたがたに備わり、ますます豊かになるなら、私たちの主イエス・キリストを知る点で、あなたがたが役に立たない者とか実を結ばない者になることはありません。

—II ペテロ 1:9—

これらを備えていない人は盲目です。自分の以前の罪がきよめられたことを忘れてしまって、近視眼的になっているのです。

—IIペテロ 1:10

ですから、兄弟たち。自分たちの召しと選びを確かなものとするように、いっそう励みなさい。これらのことを行っているなら、決してつまづくことはありません。

—IIペテロ 1:11—

このようにして、私たちの主であり救い主であるイエス・キリストの永遠の御国に入る恵みを、豊かに与えられるのです。

わお～～！！ 祈りましょう。よろしければ、ご一緒をお願いします。主よ、今日私たちの前にある力強い御言葉に感謝します。私たちは聖霊が、私たちの理解の目を開いてくださることが切実に必要だと認識し、謙虚に告白します。この箇所が私たちに与えられているのは、明らかに理由があるからです。すべての御言葉は、理由があって与えられています。主よ、私たちの心を落ち着かせ、静めてくださるよう祈ります。特にこの時期、いつも忙しく、慌ただしく、ストレスがたまります。主よ、このあなたの教会で、あなたの御言葉の中で過ごすこの時間、あなたからの休息を与えて下さいますように。主よ、あなたの御言葉を通して、私たちの人生に語ってください。あなただけが御出来になられる通り、あの聖霊の静かで小さな御声で、私たちに語りかけてください。主よ、お語りください。あなたのしもべたちは聞いています。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

ご着席ください。ありがとうございます。今日お話ししたいのは、「イエスは、私たちのクリスチャン生活に必要なもの、欲するものすべてを与えてくださっている事」です。その理由はこうです。使徒ペテロは、例のごとく聖霊によって、私はペテロの特にこの箇所が好きです。これは、彼が最初の手紙を書いたから約一年後の二番目の手紙の序文です。一年経って、二通目の手紙を書くわけですが、彼はこの二通目の手紙を書く理由、その目的を私たちに示しています。でもこの手紙を開くと、いきなり飛び出して来ます。彼の正にピッタリの励ましと序文が。"何とも言わば、鳥肌ものです。地元でない方、鳥肌が立つ、です。ハワイでは鳥肌ものと言います。ここに引っ越して早々に覚えました。鳥肌が立つとは言わないんです。あと、サンダルとも言わないように。スリッパです。というわけで、説明でしたが、話がそれていますね。ですから、この鳥肌ものの聖句は、ペテロが彼らを励ましたいと思っているからなのです。なぜでしょう？ なぜなら、彼らが落胆しているからです。ペテロは彼らに、警告したいのです。なぜか？ 偽教師がいるからです。この手紙を読み進んでいくと、もっとそれが分かってきます。この節で、私は7つ見つけました。皆さんはもっとあるかもしれませんが、神がイエス・キリストを通して私たちに与えてくださった「7つのニーズ」と呼ぶことにします。それらは既に私たちのものです。私たちが必要とするすべてを与えておられます。さらにもっと、10倍、無限に。というわけで、7つを見ていきます。繰り返しになりますが、もっとたくさん見つかるかもしれませんが、イエスが私たちに与えてくださった「7つのニーズ」です。これらが私たちに与えられた理由は、私たちが成長し、成熟するためです。これらは、私たちにとって必須で、キリストにあって恵み深く、成長し続け、成熟するため、主が備えてくださったものです。最初のものから始めましょう。2節の最初の部分です。「豊かな恵みと平安」興味深いのは、ペテロはパウロと同じように、恵みと平安を一体にし、愛情を込めて使います。パウロが言うように、「あなたは平安と恵みを決して見ない。」その理由は、一旦、あなたが神の恵みを分かるなら、神との平安があるのです。だから、常に恵みと平安なのです。切り離すことのできないもの、恵みと平安、恵みと平安。しかし、

ペテロに任せればさらに上を目指すことができます。彼は恵みと平安だけでなく、豊かな”恵みと平安”と言います。「どうだ、パウロよ？」恵みと平安の倍増です。それが翻訳された単語の意味するところです。この言葉には、”豊かな”恵みと平安、増大する”恵みと平安、”増殖する”恵みと平安という考えが含まれます。もっと重要なことは、今日の私たちの学びの文脈で、「恵みと平安の成長」です。なぜこれが重要なのか？ なぜなら、恵みと平安を通し（この順序で）私たちが成長するため必要なすべてが与えられているからです。それを、特に2節の後半で見えていきます。"「イエス・キリストの救いの知識」  
私たちはすでにイエス・キリストという人物において、イエス・キリストを通して、救いが与えられています。しかし、ペテロが使っている「知識」という単語に注目してほしいのです。その理由は、新約聖書原語ギリシャ語のこの単語の意味が故にです。ギリシャ語で「ギノスコ」です。ギノスコには、経験的知識、親密な知識という意味があります。これはとても興味深いですからどうか見逃さないでください。この単語は、マリアが御使いに、「世の救い主を産みます」と告げられた時、答えた単語と全く同じです。彼女は返答に、とりわけ当惑しています。

**「どうしてそのようなことが起こるのでしょう。私は男の人を知りませんのに。」(ルカ 1:34)**

「ギノスコ」そんな個人的・経験的知識はありません。私は、こんな表現を許して欲しいですが、性交渉をしたことはありません。その経験がありません。また、非常に興味深いことに、イエスが「マタイの福音書 7章」で使っておられる御言葉と同じです。この節をご存知の方は多いと思います。それ(7:22～)は、とても気まぐれ箇所です。人々がイエスのもとへ来てこう言うとイエスの仰ったからです。

「主よ、私たちはあなたの御名によって悪霊を追い出しました。私たちは、あなたのお名前で大きなミニストリーを立ち上げました。私たちは、あなたの御名によってこれらのことをすべて行いました。」すると、イエスは彼らに仰います。

**『わたしはおまえたちを”全く知らない。不法を行う者たち、わたしから離れて行け。』(マタイ 7:23)**

ゾッとしますね？ それで、あなたの反応は、「ほ～、待って、イエスは私にそんなこと言わないのでは？」

「はい。イエスがそんなことを仰らないとどうやってわかるのですか？」なぜなら、私はイエスとの交流、親密な、経験的知識があるからです。イエスの御言葉の種が私の人生の卵を受精させ、新しい命の受胎と誕生があり、私は新しく生まれ変わりました。もう少し踏み込んで説明します。もう一度言いますが、これはとてもつもなく重要ですよ。イメージとしては、より良い言い方ではありませんが、

「わたしから去りなさい。新しい命の受胎がなかったのだから。」これが、イエスがこう仰った理由です。

**「人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。」(ヨハネ 3:3)**

「わたしから離れなさい。なぜならわたしとの親密な関係、経験的知識＝ギノスコがなく、交わったことはありません。受胎も、新しい誕生も新しい命もありません。」ですからイエスは、彼らにそのように仰るのです。自分が救われたと思っている人、クリスチャンだと思っている人が出てくるのでゾットして身の毛がよだつ思いです。彼らは、キリスト教の言語や専門用語さえも使いこなします。彼らは適切な場所で、適切なタイミングで、適切な言葉を発します。しかし、ギノスコを持たない限り、生まれ変わらない限り、イエスは彼らに仰います「わたしから離れなさい。」あなたが何をしたかは問題ではなく、主が何をなさったかが重要です。そして、それは終わったのです。

**「完了した」のです。(ヨハネ 19:30)**

あなたが自慢するような壮大なことは、どうでもいいんです。それはすべて行い입니다。あなたは、生まれ変わらなければなりません。私たちには、イエス・キリストという人物にあるこの親密な知識が与えられ

ています。さて、もっと良くなります。このイメージ、言わば類似性に続いて、3節、私たちには敬虔に生きるための神聖な御力が与えられています。繰り返しになりますが、私はペテロのこういうところが大好きです。つまり、自分を抑えられないという感じです。「あなたがた！ 何を持っているか分かっていますか？ 何を与えられているのか、分かっていますか？ あなたがたには、聖霊の御力によって神聖な御力が与えられています。あなたがたが神の御霊、聖霊によって生まれ変わった時、気付いていますか？」私が自分を抑えないといけませんね。「あなたがたには、神、聖霊が内に住まわれていることに気付いていますか？ あなたがたの体は、神の宮です。神、聖霊が、あなたがたの中におられます。」それがパワーというものです。ギリシャ語で「デュナミス」です。今日は、ギリシャ語のレッスンみたいですが...「デュナミス」は、英語の「ダイナマイト」の語源です。それが聖霊のデュナミス・パワーです。私たちの中に、聖霊が住まわれる事で、この神聖な御力が得られます。聖霊が、私たちに与えられ私たちの内に住まわれ私たちに御力をくださいます。いいですか。それが聖なる生き方です。それが私たちの敬虔な生き方です。私の中には、神が住まわれています。そして、私は神、聖霊が内在されることによって、敬虔に、聖なる者となれます。聖霊の神聖な御力がなければ、聖なる生活、敬虔な生活を送ることはできません。どうか聞いてください。再度、これは重大な問題です。問題は、私に聖霊がおられるかどうかではありません。「いいえ、私には聖霊がおられます。私は聖霊を与えられています。」それが問題じゃなく、問題は、「私は、内住されている聖霊を悲しませてはいないか？」聖霊を悲しませることで、神の聖なる御力に、アクセスできていないのでは？ なぜならもし、私に聖霊が与えられ、私の中に住まわれているなら、私が必要なものは、全てあるという意味だからです。私は、聖なる生活をおくるために必要なすべての御力を持っています。では、私は、その御力の源にアクセスできているのか？ その御力の源にアクセスできないなら、何か別の事をしているに違いありません。それは肉と呼びます。肉のエネルギーです。自分自身の力のエネルギー。私たちがしようとしているのは、哀れなクリスチャン生活、哀れなものです。自分の力で、聖なる、敬虔な生活をおくろうとするクリスチャン。それは起こりません。そんなことは起こり得ません。あなたには神の御力が与えられて聖霊が内住されています。さて、聖霊には何が伴うかご存知ですか？ 成長する実です。ペテロの話の向かう先はこれです。敬虔に生きるための神聖な力に加えて、イエスはまた私たちに、この世の欲望と悪から逃れるための神聖な性質を与えてくださいました。聞いてください。私に、聖霊が内住されています。いいですか？ 聖霊は私を再生させ、新しい性質を与え、私は内外から再生されます。こんな言葉を聞いたことがあるでしょう。自分でも言ったことがあるでしょう。「教会に行く前に、行動を整えたほうがいい。」いいえ、実は違います。お、これはどうでしょう？ 私のお気に入りです。私には、「お気に入りリスト」があって、オフィスにメール下されば、提供しますので、一番好きなものを選んでください。これは、私のお気に入りの1つで、リストの一番上にあります。「やれやれ、教会は偽善者ばかりだ。」彼らの言うとおりです。それに対して私はいつも、「ねえ、もう一人分空きがあるよ。どうぞいらしてください。」—(笑)— つまり、私たちは皆んな罪びとで、恵みによって救われ、内住された聖霊の御力によって再生された者です。ですから私たちには今、新しい性質があります。それはプロセスです。お、既に起こったことであってほしいものです。

「私は生まれ変わった。聖霊は今、私に住まれ、私に御力を与えておられる。そして私は完全に、即座に、、、」私たちは、何事も即座に済ませたいでしょ？ ドライブスルー。私たちは、ドライブスルー的神聖さを求めています。OK。通じました。—(笑)— ペテロが「尊い」という単語を繰り返し使っているのに注目ください。先週も、このことについて話しました。この「尊い」という単語には、計り知れない、

底知れぬ値・価値という意味が込められています。ペテロはこの「尊い」という単語を、約束の文脈で使っています。つまり、これらの約束は、かけがえのないものであるばかりか、計り知れないものなのです。そんな言葉ってありますか？ まあ、あることにしておきましょう。今、作りました。神の御約束がどれほど尊く価値があるか、あなたには理解できていません。つまり、イエスが与えて下さっているのは、この邪悪な世の腐敗と破壊から逃れるため、かけがえのない逃げ道です。もし、私たちがそれを受け入れるならば。あなたが聖霊を悲しませれば、さらに悪いことに、聖霊を消してしまうこともあり得ます。火のようなものだと考えてください。その火を消すには、どうしますか？ 水をかけます。それが聖霊です。聖霊の火、聖霊の御力を消してしまう。悪く言えば、消してしまう。良く言えば、悲しませる。それでは、今日、私たちに与えられている御言葉に織り込まれている質問に戻ります。私は、これを与えられています。私は、これを活用しているのか？ 私には、聖霊、神の御力、神のご性質、尊い約束が与えられています。私は、その約束に気付いているのか？

「脱出するための神聖な性質」類型論的に言うと、約束の地は天国の型ではありません。イスラエルの民が約束の地に入った時、まだ戦いがあったのですから。天国では、全く戦いはありません。では、約束の地は何を表しているのか。約束の地は何の予型なのか。その御約束とは、尊い約束。失礼ながら、神の御約束です。聖書には、3000以上の約束が記されています。「その全部が、私に与えられたのですか？」

「そうです。」ほ～！ 私はもしかしたら....5つしか気づいていないかもしれません。じゃあ2000だとして、ここで簡単に計算してみます。自分が活用していないものが、1995残っています。それらは、あなたに与えられました。本当に興味深いのは、これは地理学的で、私は、台無しにする賜物があるので、台無しにしないようにします。約束の地、現代の私たちの知るイスラエルは、彼らに実際に与えられた約束の地の、ほんの一部に過ぎません。一番近いところが、ダビデ王の治世の時代でした。それでも彼らはまだ、神が彼らに約束された約束の地の全てを手に入れてはいませんでした。それは、私たちクリスチャンの描写でもあります。私たちは、これらすべての約束を与えられています。私たちは、それらの約束すべてを自分のものとしていますか？ それらは、私たちのものです。すべて与えられています。この時期になると、プレゼントを贈るでしょう？ せっかく贈り物をもらったのに、尊い約束をもらったのに、何も活用しない。私はとても罪を示されました。ということで、次に移りますが、もっと罪を示されるでしょうね。5つ目、5節から7節です。これは本当に興味深く、一括りにしてこう呼ぶことをお許しいただきたいのですが、神は、私たちに必要なすべてを、与えてくださっています。「成長するため必要な全てを」そうなのです。「成長しなさい。」何回聞いたことでしょうか？ 今、フラッシュバックが起きています。

「その年齢で」ということは、私は80歳です。でも、若いときに言われました。「成長しなさい。あなたは未熟すぎる。」その方がいいですか？ それは、「ヘブル人への手紙」の著者が語ることです。非常に.....つまり、聖なる強さです。でも著者は、ヘブライ人クリスチャンたちを叱責します。

### 「成長する乳が必要です。」(5:12) "

彼らはまだ成熟しておらず、歯も生えておらず、まだ肉も食べられません。彼らは、霊的成長を阻害したままです。ペテロはここで、パウロとヘブル人への手紙の著者を反復し、私たちの成長の必要性を書いています。"あるクリスチャンが、気をつけなければなりません、これを言うとき、誰の顔も見ないようにします。でも、一部のクリスチャンは、未熟なままです。彼らは救われていますよ。でも決して成長しません。なんという悲劇でしょう。例えるなら、育たない、成長しない赤ん坊のようです。それがクリスチャンにもなり得ます。彼らは霊的に未熟なままです。ヘブル人への手紙の著者は、さらにこう語りま

す。「あなたがたの中には、今頃は、教師になっているはずが、そうではなく、成熟せず成長していません。」このような悲劇を生む、必要はないのです。なぜなら、神はあなたが成長するため必要なものすべてを与え、さらにそれ以上を与えておられるからです。続けて話しましょう。私たちは生まれ変わりました。キリストにあって、生まれたばかりの赤ん坊です。そして、成長し始めます。ハイハイしていたのが、主とともに歩くようになります。成長し、成熟し、一人前になります。「神に人生をささげた女性」と言おうと思いましたが、最近はその言えませんが、ジェンダー（性別）に関してはお察しください。気にしないでください。ひどい話です。でも、あなたは、「神に人生をささげた女性」に成長します。この方がいいですね。うまいひとです。私は成長し、成熟する。私は、もはやキリストにおける幼児ではない。間違いなく、キリストにおける赤子ではありません。私はもう神の人です。成長し、成熟しました。なぜそうなったのでしょうか？ 成熟するための授業を受けたり、セミナーに行ったりしたのでしょうか。いいえ、私たちには聖霊、つまり神のご性質、神の御力が内住していることを思い出してください。何がそれに組み込まれているかという、雑な言い方をお許しください。ここでちょっとだけ、もっと雑な例えになりますが、でも、それに伴うのが、「実」です。「実」です。賜物とは異なります。賜物は、与えられるものです。ありがとうございます。ちなみにメリークリスマス。「実」とは、そう慌てないでください。時間をかけて、ゆ〜っくり、育〜っていきます。しかし、それが聖霊の「実」です。聖霊が与えられ、私に内在する聖霊が成長し、成熟し始めたら、「もし」これがキーワードです。見逃さないでください。ペテロは、これを一度だけでなく、何度も使いますよ。ペテロは、「もし」と言い、「いつ」とは言いません。「いつ」と言っただけです。そうすれば自動的に。彼は「いつ」とは言いません。彼は「もし」と言っています。陪審員はもういません。(決定事項)「~かどうか」です。つまり、前提条件があります。ここで彼は、また雑な表現ですが、買物リスト。あなたのショッピングカートを手紙に想像してください。オンラインショップでもいいですよ。カートに商品を入れます。この例えでいいですか？ ここでペテロが言っているのはそういうことです。ペテロが、あなたには、ショッピングカートがあると言っています。では、カートに商品を入れてください。始めましょう。「信仰」をカートに入れてください。「信仰」に加え、「善意」もカートに追加してください。「善意」に加え、「知識」をカートに入れます。値段を見る必要はありません。すでに支払われているのですから。すでにあなたに与えられています。すでに購入済みです。"私たちは、代金を支払って買い戻されました。私たちは自分のものではありません。つまり、こんな感じです。「お金は払ってあるから、好きなだけ買いなさい。」「OK。素敵！他に何を追加すればいい？」では「自制心」をカートに入れなさい。「忍耐力」をカートに入れなさい。「敬虔さ」をカートに加えなさい。私はそれが欲しいです。「兄弟愛」はどう？ それはホントに使えます。追加しよう。最後にチェックアウトの前に、「愛」を入れましょう。ところで、これってちょっと、「ガラテヤ人への手紙5章」で聞き覚えがありませんか？ 聖霊の実です。愛、喜び、平安、親切、柔和、優しさ、穏やかさ。(に、、、) ええそうです。"焦ってはいけませんよ。忍耐/寛容と言おうと思ってるんだから。(笑) 忍耐/寛容、そして自制心。それが育つ実です。私たちの人生で育っていく聖霊の実です。しかし、私たちは、自分のクリスチャン生活のカートに加えなければなりません。でないと、ただそこに置いてあるだけです。すでに支払われているのです。もう私たちに与えられています。私たちがすることは、追加して、チェックアウトする。そうすれば私たちの物です。しかも、ハワイへの発送も2週間かかりません。(笑) それはまた別の機会の別の学びで。つまり、これって私だけです？ 何か注文をすると、お付き合いください。胸の内を明かしたいのです。何か注文すると、こんな感じです。「納品予定日、2024年です。」

は～？ マジ？ 本土の人々は、これを知っていますか？ これはおそらく役立ちませんよ。特に忍耐強いなら。その日のうちに届く。う”～～～OK。次に進みましょう。6つ目。8節、9節です。

「相応な保護」こんな風にこの言葉を選んでいるのは、ペテロは、私たちが、これらの資質を、(キーワード) 増大する尺度、成長する尺度、増殖する尺度で備えていると表現するからです。聖霊によってペテロが語っているのは、イエスがすでに与えてくださったものを備える責任は私たちで、それで判断されるという事です。ペテロが「もし」という言葉を使っていることから分かります。彼は言います。「もし、これらの資質を備えるなら」それはこういう事です。「もし私が～なら、それなら～～です。」もし、私がこれらの資質を備えそれがますます豊かになるなら、つまり、1度で終わるものではありません。それは、私がキリストにおいて恵み深く成長し、成熟するにつれて、絶えず成長し、増殖し、増加します。それなら、私は守られる。何から守るのか？ ペテロは2つのことを挙げています。「役に立たない者となることから」「実を結ばない者となることから」実があるのです。起こる事は、彼はそのことも話します。私たちは締めくくっていきますけど、起こる事は、私たちは、このような資質や約束を備えません。私たちは、与えられたものを活用しません。すると、その結果は？ 不毛で実のないクリスチャン生活。何度も言いますが、悲しいかな、そうなる必要はありません。もし私たちが、イエス・キリストにおいて、キリストを通して、神が既に与えて下さったすべてのものを備え、活用するのであれば、私たちは保護されます。私たちは祝福され、成長し、成熟します。とても悲しいのは、この影響で、部分的に、本当に実のないものとなってしまふ。実を結ばない人もいます。イエスは仰いました。

「ある者は実を結ばず、ある者は百倍の実を結ぶびます。」(マタイ 13:23 参照) "

そしてそれは、最後の10節、11節に書かれていることに繋がります。しかし、私たちには与えられたこの機会があります。私たちはそれを掴み、活用するのか？ すでに私たちに与えられています。そうすることで得られる益を知っていて、なぜそうしないのでしょうか？ つまり栄光の前、あのラッパが鳴る前、携挙前のこの人生、私は今ここに全てを与えられていて、それが実際に私の永遠を決定するの？ そうです。それを報酬と呼びます。ペテロは、とても潔く、30年ほど前の福音書に登場するペテロには、このような機転はありませんでしたよね。彼は今やもう全然違う人です。彼は成熟しました。30年後、この手紙を書いた時は。ちなみに、彼は自分の時間が短いことを知っています。そしてそうなります。それがこの手紙を書く理由の1つでもあります。私たちは見ましたね。お、いや、実はこれは来週見ます。ここにきて、すっかり混乱しています。1週間先行してしまっていますね。私たちが見るのは、この手紙を書いた目的の1つ、ペテロは自分がいなくなった後でも彼らが覚えていられるように記しています。そして、彼らに思い出させたいのです。これはとても重要なことで、ペテロは自分が主のもとへ行く時、彼らにはもう自分がいないことを知っているからです。ペテロは使徒の一人でした。イエスの目撃者、イエスの弟子、イエスと歩んだ者、イエスを親しく知っている者。もう死んでしまふ。ペテロはもう長くはありません。ですからペテロこれを書くのは、

「今、与えられているものすべてが、天で待ちうける報酬を決めることになるのを常に思い出し、決して忘れないでほしい。」

そして、それが10節と11節にあります。「永遠の豊かな報酬」それらが私たちに与えられました。それらを手に取りますか？ 積み上げますか？ 増やしますか？ どういう意味ですか？ "キリストの御座の裁きでの冠、宝、報酬。これは、誤解しないでほしいのですが、天で「ほ～、あの人たちののは私のより大きな豪邸だ。」と言う人は誰もいません。いいえ。「ああ、神様、ありがとうございます」とな

ります。少なくとも、天国で私は、物置を手に入れました。彼らの屋敷の隣のね。感謝しかありません。言い換えれば、言わば、誰も自分が貧乏くじを引いたとは思いません。しかし、私たちが天に積む報酬や冠、宝は、この地上でした事が前提です。だからこそ、ペテロは、「もし」という言葉を口にするのです。もし私たちがこれら全てを熱心にすれば確信と安心と安定の中で成長し、成熟し、決して倒れることはありません。不動。堅固。安定し、確実で、疑問なし。間違いなし。で、理解してほしいのは、さっと言いますと、これは救いとは全く関係ありません。報酬を失うようなことを暗示しているわけでもありません。そうではなく、報酬を追加し、冠を追加する事なのです。

使徒パウロが「第二テモテの手紙」で、テモテに最後の言葉を書いた事を思います。

「テモテよ、これが最後です。私は、自分の時が近いのを分かっています。私はレースを走り抜きました。私は良い戦いをしました。私はちゃんと走り終えました。あとは、義の栄冠が私のために用意されているだけです。私だけでなく、主の現れ（再臨ではなく携挙）を慕い求めている人には、だれにでも授けてくださるのです。」(II テモテ 4:8)

それこそが、祝福された希望、私たちが空中で主と会うため引き上げられる”主の現れ”です。じゃあ、ちょっと待って、パウロ。あなたは、ちょっと.....ねえ、待って。ペテロはパウロを盗作したの？ いいえ、それは同じ聖霊で、調律し、そう、音叉のように、音楽が好きな人、すべてが聖霊の同じ音叉で調律されています。あなたがたは一心同体です。つまり、ペテロは、パウロが人生の最後に言ったことと基本的に同じことを語っています。私はもう終わりを迎えようとしていて、今、旅立つ時が来ました。私は完走し、義の冠を手に入れます。興味がある人、いくつかの冠があって、聖書の中の冠について、魅力的な研究があります。でも、これは具体的に言うと、男性方、男性方、これは違って、つまり、これは男性の話ですが、「冠って、私は男ですよ。」OK。では王様の冠を考えてください。はい、これで話がまとまりますね。それだったらできます。ええ、あなたは、この冠が欲しくなります。あなたはこの冠が欲しくなります。この王冠を（天に）積めるのです。もし、もし、ペテロが言うように、「もし」あなたがたがこれら全てを熱心にするなら、あなたがたは成長し、報酬が増え、"栄光に入る時、「ほ～～！」となります。

「入りなさい。どうぞ、入りなさい。よくやった、忠実なしもべよ。」(マタイ 25 参照) "

そして、あなたはその時、全ての宝や報酬、冠を見ます。ほう！！また鳥肌ものですよ。次の状態に臨床名があることは知っています。しかし、私はただ想像します。私たちがそこにいるとき、どんなの風になるのかを。繰り返しますが、これを言うとき誤解しないでほしいのは、"そこに行って、こうなりたくないのです。「おお、私もあれが貰えただろうに、でも貰えないんだ。。。」繰り返しますが、「う」お～！！」と思うようなことはありません。ある時、ある牧師がこう言うのを聞きました。私は実際に聖句を調べてみましたが、ありがたいことに、全く違いました。その牧師が教えていたのが、黙示録でイエスが「私たちの目から涙を拭って下さる。」は、「失った報酬を悔やむ涙で、それが永遠でのクリスチャンになり得る。」だと。私はそう思えません。それは矛盾しています。第一コリント人への手紙3章を読むと、こう話す人。「木、草、藁のすべてが焼き尽くされる」そのことは分かります。しかし、ペテロがここで語っている文脈は、実はそうではありません。ペテロがここで語っているのは、私たちが成長し、増加し、増殖すると、神が与えてくださったすべてのものが、私たちの人生に実り多く、効果的で生産的で、私たちは忠実になり（御国に）入るのです。繰り返しますが、臨床名は分かっています。でも私たちがそこに行った時の、「子羊のいのちの書」（黙示録 13:8）リストを想像します。—JDの妄想— それで私が行くと、彼らはこんな感じで、「待って、そんなに急がないで。あなたの名前はどこかな？ お！あった、



あった。お、後から追加されたんですね。わかりませんが、身分証明書を見せてもらえる？ —(笑)— はいはい、結構。どうぞ、進みなさい。」進めってどういう意味です？「はい、進んでください。入りなさい。あなたはリストに載っています。やり遂げました、まるで火のように。」パウロは、コリント人たちに言いましたね。こんな風に言っていていいですか？「ギリギリで」いいえ、それがペテロが言っていることです。もし、あなたがそうしないなら。彼は、あなたが盲目であるかのような言い方をします。あなたはそれを見ないだけ。でも強調しているのは、あなたが（御国に）入る時にあなたが望むのは、あなたは彼らに、ああは言うて欲しくはないでしょう。ちなみに、ペテロが真珠の門に来ることはないと思います。彼らはどこから来たのか？ つまり、ペテロは手紙の中で何かを伝えていると思いませんか？ あなたがたが入るとき、私は、真珠の門にいますよ。いいえ、彼はきつといないと思います。とにかく、なぜそんな話になったか分かりませんが、それから、ハーブ。ハーブの件は、今回できっぱり対処していいですか？ どこで、この天国というイメージ、ほら、私たちはみんな……。天使（御使い）も持ち出しませんか。「おお、彼らは今、天使ですよ。」いいえ、彼らは違います！！ 天使は、私たちより下です。実際、使徒パウロが言っているように、天使は、その翼で天使の頭を掻いているだけです。彼らは、私たちに驚嘆し、彼らは私たちを研究します。天使（御使い）は、神に似せて創造されていません。私たちはそう造られました。天使は造られましたが、神に似せて造られたものではありません。誰かが言いました。「あ～彼らは翼があるよ。」私は翼を持ちません。あと、ハーブも持ちませんから！ そうです。そのことに拘るのはやめましょう。はい、良かった。気分が良くなりました。私たちは、そのファイルを閉じなければなりません。いいですか？ 私たちは礼拝するのですよ。礼拝をします。私たちはただ畏敬の念を抱き、主の御前に冠を投げ出し、賛美します。「ふさわしい、ふさわしい、ふさわしい、屠られた子羊。」投げ出すような冠が欲しいですね。投げるからには、投げてみましょう。ええ、あ、お、あなたは冠がないんですか？ プロペラ付きのニット帽子ですか？ では、それを投げてみてください。あ～結構ですね。バカバカしいけど、皆さん、この描写はきつと忘れないでしょう。あれが待ちうけます。「もし」「もし」私たちがこれらのことを熱心にし、成長することを望むなら。最後にもう 1 つ。これは大きいですよ。今日の学びと教えの心積もりに、今朝考えていました。非常に興味深いことに、ペテロは聖霊によって言います。「あなたの選びを確かにしなさい。安心し、確固とする。」言い換えれば、自分が成長し、これらをしたと思うようになると、疑いが消えていきます。そして、敵があなたの心に疑いの種を植え付けようとしても、あなたは「ぷっ！ ははは」となります。「マジ？ 惜しかったな。」いいえ、私は安全で確かです。疑いなく、確固たるもの。そして、それはさらに現実的です。私の永遠の命は、さらに現実的です。聞いてください。この一時的な世よりも。皆さん、それを信じますか？ 永遠は、今の人生よりも現実的です。この全割合はどうです？ 私たちは 80 歳まで生きる。70 歳で例えたら、みんなに怒られましたからね。今なら理由がわかります。ですから 80 歳。ここで 80 年あるとしましょう。それは、永遠と比較してどうです？ 私たちは……。これはかなりの投資チャンスですよ。私たちは 80 年間、この尊い約束と報酬と冠を備え、ますます増やすことができます。そして、その 80 年間は、もちろん、最初の 5 年間は、おむつを替えてもらうくらいで、大したことはしていません。でもそう、75 年でも何でも構いません。大体、私たちはこの短い人生で、それが私たちの永遠の命を決めることになるのです。わお～！ それですべてを変えます。突然、私はこうなります。

「OK。聖霊様、このショーを始めましょう。」まるで火事みたく、自分にはない翼に、煙の匂いさせて、そこに現れるのは嫌です。つまり、ギリギリのギリで辿り着き、自分が誰なのかを確認されるのに ID で

証明するなんて嫌です。「おお、こちらにどうぞ。他の人が豪邸や報酬や冠や宝を取りに来る間、あそこの列で待っていてくれないかな？」なんて。そうではなく、再度、私たちは栄光で失望するのではなく報われることがどれほど多いか。それが私の欲しい物です。それが私の欲しい物です。それはもう、私たちに与えられています。それが彼らのものです。それが既に私たちのものです。ご起立ください。カポノは私を試しています。私の信仰を試していますね。(いつもと違う場所にいるから) 上がってください。第一礼拝で、私はここにいて…カ…ああ、カポノは退出しました。そしたら彼はこっちから来ました。何でもいいです。とにかく何でもいい。-(笑)-

天のお父様、主よ、本当に、本当に、本当に、本当に、本当に、ありがとうございます。神よ、あなたはとても良いお方です。主よ、この聖句を感謝します。ただ、とても力強く、とても深く、とても適用できます。しかし、繰り返しますが、私たちには聖霊が必要です。ここから先は聖霊がどうしても必要です。なぜなら、もし聖霊がおられないなら、私たちは今日ここで見たものを自分の人生に適用できないからです。私たちの心に適用することを祝福ください。主よ、私たちはこれが欲しいです。私たちは、ペテロがここで書いているものが欲しいです。私たちは、この1つ1つ、そして、あなたが私たちに与えてくださったものすべてが欲しいです。主よ、私たちは成長したいです。成長し、成熟したいです。主イエスよ、感謝します。あなたの御言葉に感謝します。イエスの御名において。アーメン。

-----  
メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャーペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7